



いろは呑龍新聞

2018年(平成30年)11月号
第35号

いろは呑龍トンネルに貯めた水を桂川へ放流するポンプ場を造っています。

底盤の構築

現在、現場では引き続き、ポンプ場本体の床部分である底盤(地下作業室の天井スラブ)を造っています。膨大な量の鉄筋の組み立て作業において省力化・簡素化を図るため、機械式継手を採用しています。

機械式継手は、鉄筋と鉄筋のつなぎ目をカップラーでつなぐことにより、溶接やガス圧接を必要としない継手方法です。溶接技術を持たない作業員による作業が可能となり、天候を問わず継手作業をすることができます。



ポンプ場予定地航空写真(H30.11)



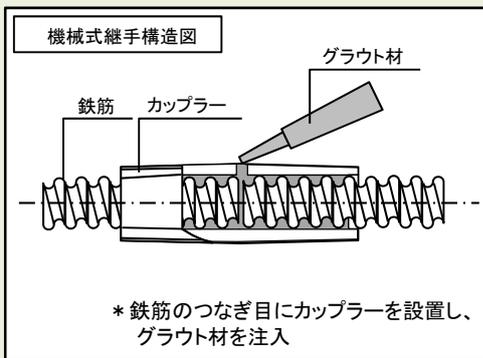
H30.10月



H30.11月



機械式継手写真



一ヶ月ですごく鉄筋が増えたね！



呑龍トンネル南幹線・呑龍ポンプ場工事現場見学会

10月28日(日)に洛西浄化センター下水道フェア(施設公開)があり、合計650人の来場者で賑わいました！

今年に来場者を対象として呑龍トンネル南幹線と呑龍ポンプ場の工事現場見学会を午前と午後に行い、1日で合計31人が工事現場を見学しました。

参加者からは普段見ることのできない工事現場を見学し、施設の大きさや呑龍トンネルの機能に驚きの声があがっていました。

僕も皆と写真を撮ったよ！
呑龍ポンプ場は工事が始まってから、初めての一般公開だったんだ。



洛西浄化センター



呑龍太郎登場



呑龍ポンプ場



呑龍トンネル南幹線